



「心の通う温かい県政」「活力溢れる山形」へ

山形県知事 吉村 美栄子

■山形県の「元気な風」

去る四月三十日、東京・銀座に本県の新しいアンテナショップ「おいしい山形プラザ」がオープンしました。山形の本物のぬくもり、もてなしの心を感じていただける空間を目指しますので、是非一度お立ち寄りください。

このところ山形県は元気いっぱいです。今季、J1に初めて昇格した「モンテディオ山形」の活躍、県内でロケーションが行われた映画「おくりびと」のアカデミー賞受賞、本県ゆかりの「直江兼続公」が主人公の大河ドラマ「天地人」の放送、さらには、新しいお米「つや姫」が今年秋に先行販売され、来年秋には全国に向けて本格デビューします。まさに今、山形に素晴らしい「風」が吹いております。この「風」を逃さず、「山形の魅力」を全国に向けて積極的に発信していきます。

■四つの重点分野

本県の財政環境は厳しい状況が続いています。だからこそ、県民が必要とする分野に政策を集中していくことが必要だと考えます。私は、特に「県内産業の振興、活性化」、「農業の再生」、「医療・福祉・子育て支援の充実」、そして「教育の振興」の四つの分野に重点的に取り組めます。

一 県内産業の振興、活性化

県内の産業を育成するため、地産地消を第一に考えます。県民が県産品を愛用するとともに、県内で創り出した価値が、県内の他の様々な資源を結び付けながら、さらにその価値を高めることによって県内産業が発展し、それが公共サービスの向上にもつな

がるという好循環をつくりたいと思います。

また、新たな産業創出として、企業誘致を積極的に推進するための企業立地促進補助金を全国トップクラスの制度（補助限度額五十億円）に拡充するとともに、健康・福祉ビジネスの創出、県内で研究開発が進められている次世代技術の実用化、映画産業、環境産業の振興など新たな分野での産業育成に取り組んでいきます。

「観光」は地域力そのものです。本県の歴史、文化、自然、食など魅力ある資源を活用し、農業、商工業などと連携しながら、大きな経済波及効果をもたらす「総合産業」としての観光を発展させていきます。

二 農業の再生

本県の基幹産業である農業を再生するためには、生産振興や販売拡大による農業産出額の向上、農業を通じた観光など、様々な視点から総合的な取り組みを行うことが必要です。このため、農林水産物の生産・加工・流通・消費の各団体などが、情報を共有し、連携しながら、率先して具体的な活動を展開する「農林水産業活性化推進本部」を設置しました。

さらに、米、果樹などの生産基盤の整備・更新、担い手の育成、学校給食における県産農産物の利用拡大運動の展開、県産農産物の輸出促進などを進め、農家の「やる気」に応えていきます。

三 医療・福祉・子育て支援の充実

喫緊の課題である医師の確保対策などを進め、安心できる地域医療体制をつくります。また、福祉施設や介護サービス分野での人材育成・確保策を強化するとともに、生

活保護世帯の方々への中学生の修学旅行支度援助費の創設、子育て家庭への医療給付制度の拡充など質の高い福祉サービスを提供します。

特に子育て支援については、今年度より知事直轄の「子ども政策室」を設置し、子育て政策全般にわたり関係部局が一体的かつ横断的に施策を展開します。

四 教育の振興

「教育県やまがた」の子どもたちの学力と学校の教育力の向上のため、全国に先駆けて本県が導入した「少人数学級」について、現在、中学一年生まで実施している少人数学級編制を中学三年生まで段階的に拡充します。

また、私立学校への支援の拡充や特別支援学校の機能強化、生涯学習の振興などに取り組めます。

■県政運営に対する私の「想い」

私は、「心の通う温かい県政」を掲げ、去る二月に知事に就任して以来、景気・雇用対策のための「雇用創出一万人プラン」の実施、また、新型インフルエンザ発生に伴う対策本部の立ち上げなど、政治と行政の最も重要な役割である県民の生命と生活を守るため、スピード感を持って、全力で県政運営に取り組んでまいりました。

私は、「ここで暮らし続けたい」という県民共通の願いを大切にし、その願いがかなうよう、今後とも「心の通う温かい県政」を進め「赤ちゃんから長寿の方まで生き生きと暮らしている 活力溢れる山形」の実現に向けて、対話を重ね、現場を重視する県政運営を行ってまいります。